

事務事業名		地域再生営漁活動支援事業		実施計画登録事業 <input type="checkbox"/>		合併建設計画登録事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目			
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興		単年度のみ		会計	款		
	基本事業名	03 漁業経営の安定化		単年度繰返 (開始 平成23 年度～)		項	目		
根拠法令				期間限定複数年度 【計画期間】		01	06		
所属	部課名	農林水産部 水産課		年度～ 年度		03	02		
	課長名	鈴木 満広		※全体計画欄の総投入量を記入		36			
	係名	振興係	電話	27-3111					
	担当者	山口 香央利	内線	374					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
<p>・東日本大震災津波により被災した地域漁業の再生に向けた事業実施主体の主体的な活動の喚起と定着を図るため、沿海地区漁業協同組合が策定し、県が認定する地域再生計画に掲げる活動について、地域の実情に即した活動推進対策の構築及び活動の円滑な始動を支援する補助事業。</p> <p>・補助事業者は、市内の沿海地区漁業協同組合。</p> <p>・当該補助事業は、事業主体に事業費の2/3(うち県1/3、市1/3)を補助する。</p> <p>・平成27年度は、事業実施主体者が、県と市それぞれに補助金交付申請をし、それぞれから補助金を交付したが、平成28年度からの事務の流れは概ね次のとおりである。</p> <p>要望調査→県へ実施計画書の提出→実施主体へ補助金内示→県へ補助金申請→県と補助金交付契約の締結→実施主体へ補助金交付決定通知→事業実施(着手～完了)→実施主体からの請求に基づき補助金交付→県へ補助金交付請求</p>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
							財源内訳	都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数								
	延べ業務時間								
	人件費計(B)	0							
	トータルコスト(A)+(B)	0							

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
綾里漁協:セミナー開催、販路開拓、マガキ外海養殖実証試験 大船渡市漁協:エゾイシカゲガイ採苗試験 各漁協の活動に対し補助金を交付。	ア 補助金交付件数	件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	
○吉浜漁協:消費動向調査、ギフトパックの拡充等 ○綾里漁協:売り場調査等、販路開拓活動等 ○大船渡市漁協:消費者ニーズ把握、現地調査等 ○越喜来漁協:消費動向実証試験資材購入 各漁協の活動に対し補助金を交付する。	ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
(直接の対象) 事業主体(漁業協同組合)	名称	単位
(間接の対象) 事業主体が計画した事業数	カ 事業主体数(漁業協同組合数)	組合
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	キ 計画した事業数	事業
地域漁業の再生に向け、事業実施主体者が地域の実情に即した活動を主体的に実施する。	ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
地域漁業の活性化	名称	単位
	サ 実施した事業数	事業
	シ	
	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
		単位							
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円					1,986	
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円				1,076	1,986	
		事業費計(A)	千円				1,076	3,972	
	人件費	正規職員従事人数	人					1	1
		延べ業務時間	時間					20	20
		人件費計(B)	千円					80	80
		トータルコスト(A)+(B)	千円					1,076	3,972
⑤活動指標	ア	件					2	4	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	組合					2	4	
	キ	事業					5	10	
	ク								
⑦成果指標	サ	事業					5	10	
	シ	事業							
	ス								

事務事業ID	1670	事務事業名	地域再生営漁活動支援事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	東日本大震災津波により被災した地域漁業の再生に向けた事業実施主体の主体的な活動の喚起と定着を図るため、沿岸地区漁業協同組合が策定し、県が認定する地域再生営漁計画に掲げる活動について、地域の実情に即した活動推進体制の構築及び活動の円滑な始動を支援するものとして、平成27年度から実施された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	事業実施主体は沿岸地区漁業協同組合であるが、事業に取り組む漁協数および、各漁協の計画する事業数ともに増えている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	各漁協では、この事業の実施をきっかけとして、漁業者の収入の安定と担い手の確保に結びついていくことを目標としている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↘ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ この事業に取り組むことで、地域の実情に即して漁協組合が主体的に活動していくことができる。また、それぞれの事業で得たことを、次の新たな事業に結びつけていくことで、漁業者の収入の安定に結びついていく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↘ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 事業実施により、漁業者の収入の安定と担い手の確保に結びつくことから、市が関与すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ この交付金事業は、県の交付要綱に実施主体、実施要件等が定められており、対象・意図を限定、追加することはできない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 市内には沿海地区4漁業協同組合があり、全組合が参加し、さらにそれぞれの地域の実情にあった事業を計画を組み立てることで、ますますの向上することができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 当該事業の廃止・休止は、各漁協における地域の実情に即した改革・改善の活動が促進されず、担い手不足等の問題が深刻化することが懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↘ 他にも震災復旧・復興関連の補助事業はあるが、補助対象が異なることから、統廃合・連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↘
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の削減は、地域漁業の改革・改善の活動、復旧・復興を遅らせることとなり、市内水産業への影響が懸念される。 事業執行上必要最低限の額であることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 県・市の補助金交付要綱に基づき行われる事務手続きであり、今以上の効率化は望めない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↘ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 事業費の1/3は事業主体が負担しており、被災の現状を考えると、適正な負担と判断する。

事務事業ID	1670	事務事業名	地域再生営漁活動支援事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>地域の実情をよく認知している漁業組合が主体となり、「人づくり」「場づくり」「価値づくり」という目的に分け、地域漁業を再生するための活動計画を立てるため、直接的に漁業者への効果が期待できる事業と考える。漁業者が切望する、収入の安定と担い手の確保を実現するために、漁協と漁業者、市及び県が一体となり取り組んでいかなければならない事業である。</p>																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 当市の基幹産業である水産業の被災状況を見ると、水産業振興を図る上で当該事業は欠かせないものであることから、計画的に事業実施できるよう漁協と協議をしながら事業を進めていく。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 計画的な事業実施を行うよう事業主体に指導していく必要がある。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	鈴木 満広
-------	-----	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																							
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																							
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																							
<input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>漁業収入の安定や担い手確保等のため、各漁業協同組合が取り組む事業を支援するものであり、当市水産業の振興に結びつく有効な事業である。 市内全沿海漁協が対象であり、受益者負担も適切な水準である。</p>																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後の漁業振興のため重要な事業であり、継続して事業を実施する。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
